

平和新聞

原子爆弾の

真の恐ろしさ

原子爆弾の
主な威力は、
「熱線・爆風
・放射線」の
三つですが、

久寺家中学校

吉田直輝

その中で最も恐ろしい
のは放射線による被害
です。

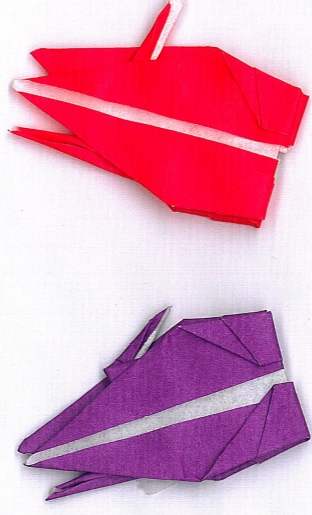
その放射線の中でも
特に恐ろしいのは、「
放射性降下物」別名、
「黒い雨」と呼ばれて
いる物です。「放射性

降下物」とは
際に発生した放射性物
質が高温で気体となっ
て上昇し、それが雨に
混じって降ってくる物



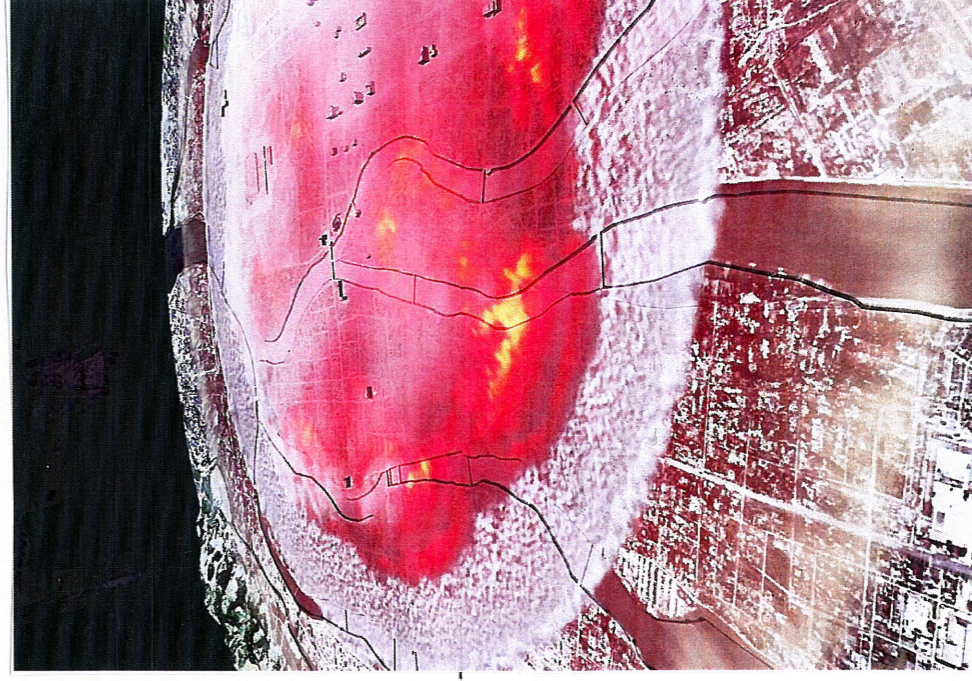
です。そのときに雨の
色が黒くなることから
、「黒い雨」と呼ばれ
ていきます。
この「黒い雨」は、
寿命の長い放射性物質
を含んでいて、長い間
人体に影響を与えます。
さらに「黒い雨」は地
上に落ちた後も放射性
物質を発生させるので、
長期間にわたってその
場所や人体に影響を与
えます。

平成29年10月14日
我孫子市
中学生広島派遣団

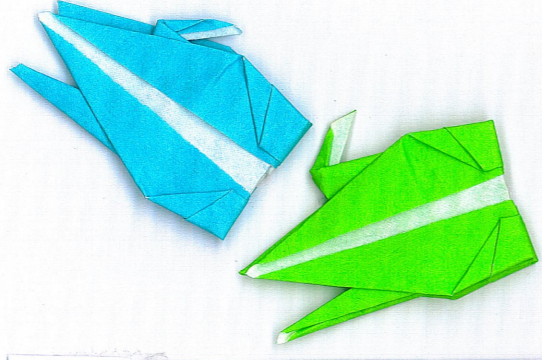


当時、広島は爆
風の影響で、木造住宅
はほぼ全て無くなって
しまい、鉄筋コンクリ
ートの建物も中の支え
以外は全て破壊されて
しまいました。さらに
熱線の影響で、壊れた
建物などが燃えて広島
の町は火の海となりま
した。
爆発直後の熱線によ
り火傷を負った人が一
斉に川へ飛びこんだた
め、川には無数の死体
が浮かんでいて、とて
も川の水を浴びたり飲
んだりできる状態では
ありませんでした。な
ので水を求めている人

たちは、空から降って
 くる、黒い雨しを浴び
 たり飲んだりしました。
 生きるためにしたこと
 ですが、「黒い雨」に
 含まれる放射性物質を
 体に取り入れてしまっ
 て、「がん」になったり、
 「白血病」になったり
 して、たくさんの方が
 命を落としました。
 このように原爆は爆
 発直後だけでなく、長
 期間にわたり人々を苦
 しめてきたので、この
 原爆が地球上で二度と
 使われないように努力
 をしていかなければな
 らないと思いました。



に葉ここにウに細れ
 集のれ分ラ百いた広
 め爆を離ン%筒原島
 て発高し35近状子に
 核で性アをいの爆投
 分一能おニ濃両弾下
 裂つ爆き、縮縮端は、さ



我孫子中学校
 西村百夏

原爆のしくみと その影響

性はぼすがす主な放
 線マ爆線放
 心と射
 地中線

人破アのM地
 体壊約爆アの地
 に力十薬爆地
 障が六に発上
 害あ此換し、約
 をア分算通六
 及た。のし常百

爆れルい七径のるが
 弾たボアで、よ連
 は。一と見七長ウ鎖
 市こイかたM、さ的に
 街のとウ目重三しに
 中原呼りがさM、た起
 心子ばト細四直もこ

がの血減後内下間
 出人小少は女痢以被
 灰体板赤脱な発内爆
 。へ減血毛、ど熱はし
 の少球白一出嘔ア
 影な減血週血吐一
 響ど少球間口、週

二に熱る七ばるMが
 万よ線。しほも以ら
 人アヤアたぼの内半
 がア爆のと全がで径
 死丸風他思負なさ約
 んこなにわがけえ五
 だ。十どもれ死れぎ百

被爆体験

今年の派遣
団は八月七日
に中西敏さん
から被爆体験
の講話を頂い
た。一九四五

白山中学校
二年大晴
瀬



年八月六日朝、中西さんは仕事場へ行っていた時に原爆が投下された。この当時十五歳という年齢だったが、戦時中は仕事をせねばならず生徒勤労員として広島陸軍被服支廠という場所で働いていたと言った。その時、中西さんは死んだ気がしたと言った。その後中西さんは気を失った。目を開けるときの二雲で周りには真っ暗だった。周りの人々は悲鳴を上げていた。しかし、自分は無傷だった。その後、自宅へ帰り、一家で林の中へ逃げ込むと広島

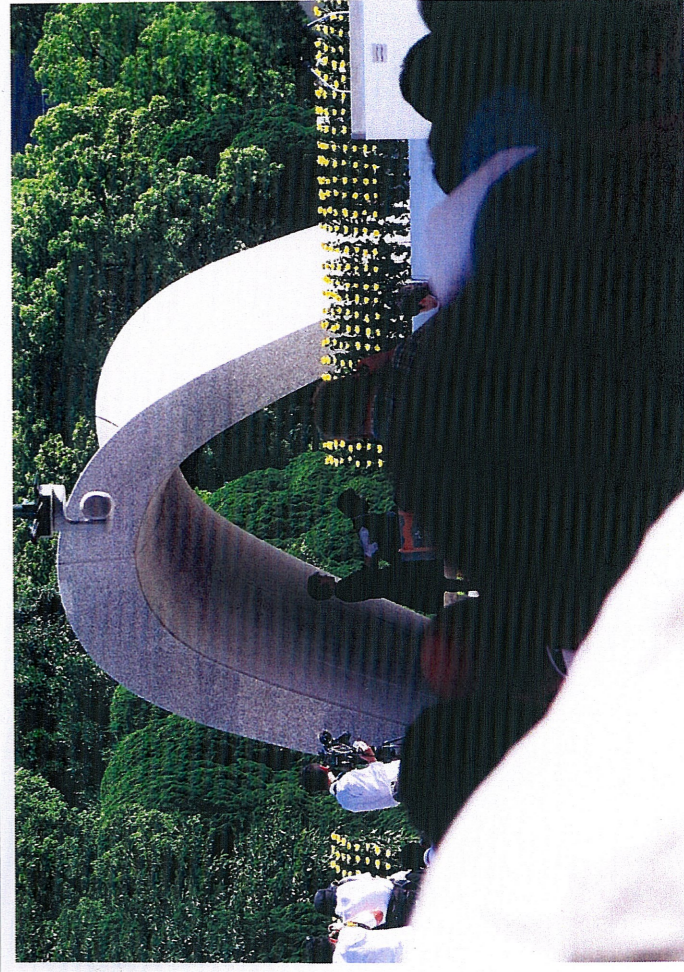
の町は真っ赤に燃えていたらしい。その後は何事も無かったが、九月頃に体の調子が悪くなる人が多発し、ばい菌や毒薬も一緒にまいたという噂が流れたと言った。中西さんは講話の中で八月六日広島市内へ行く電車を地獄行きの電車と表現していた。そんな乗り物がもう二度とあつてはいけなさと私は思う。みなさんもそうは思わないか？



平和記念式典

今年の広島
派遣団は、八
月六日に平
和記念式典に
参列しました。

湖北中学校
二年
市川 凌



平和記念式典とは、毎年原爆死没者の霊を慰め、世界の恒久平和を祈するため、原爆記念公園の原爆死没者慰霊碑（広島平和都市記念碑）前において、原爆死没者の遺族をはじめ、市民多数の参加のもとに平和記念式典を挙行してまいります。式典の中

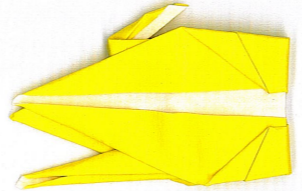
で広島市長によって行われる平和宣言は、世界各国に送られ、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてまいります。

また、原爆の投下七水た八時十五分には平和の鐘やサイレンを鳴

らして、式典会場、家庭、職場で原爆死没者に哀悼の意を表し、あわせて恒久平和の実現を祈り、一分間の黙とうも行っています。平和記念公園が開設された一九五四年以降は現在の形式で行われてまいります。

なお被爆から七十年以上が経過して、被爆

体験を持つ人たちの平均年齢が八十歳を超えたところで、被爆経験が戦争経験と同様に風化してきていると指摘されてまいります。



広島平和記念公園

入寺家中学校2年
中島 未来
私達は、八月五日に広島平和記念公園を訪れました。その場所が被爆したア

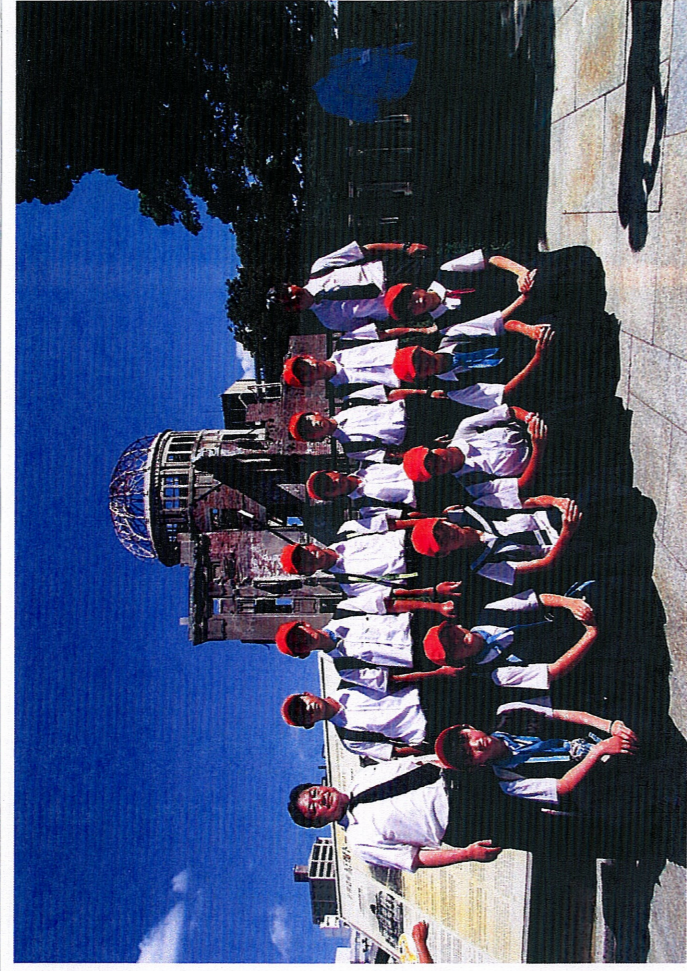
オギリヤ、嵐の中の母子像、原爆ドームなどを見ました。被爆したアオギリとは、爆心地から一・三キロメートル離れたところで被爆したアオギリのことです。現在では、被爆したアオギリ二世が我孫子市にもあります。また、

このアオギリには歌があり、広島の子ども達に歌っています。

次に嵐の中の母子像です。この像は、嵐の中で母親が二つの子どもを守るようにかがえている像です。この像から、力強さを感じます。

最後に原爆ドームです。
 原爆ドームは、もとは、
 広島県立商品陳列所と
 いう名前が、物産の展
 示や美術展覧会場とし
 て使われていたところで
 す。しかし、一九四五
 年八月六日に原子爆弾
 により、大破し全焼し
 ました。今では、被爆
 の惨禍を今に伝え、核
 兵器廃絶と恒久平和を

求める誓いのシンボル
 になりました。



折り鶴 原爆の子の像

広島平和記

白山中学校二年

豊田香乃

念公園にある、
 平和の象徴の
 禎子鶴は「原
 爆の子の像」

のモデルとなった佐々
 木禎子さんが、生前に
 折った大変貴重な折り



鶴です。我孫子市にも
 我孫子市の平和事業に
 共感した禎子さんの兄
 雅弘さん、甥、祐滋さ
 さんから平成二十七年に
 寄贈されました。現在
 生涯学習センター「ア
 ビスタ」に常設展示し
 ています。このモデル
 となった禎子さんは二
 歳の時に自宅で被爆し、
 十年後に突然発血病を
 発症しました。禎子さ
 んは闘病中「生きたい
 と願いながら色々な包
 み紙で千羽鶴を折り続
 けましたが、願い叶わ
 ずわが十二歳という
 若さで亡くなりました。



その後同級生が立ち上がり、「原爆の子の像」の下建つけられました。この像は平和のシンボルとなり、現在も世界中の人々からの、平和を願った折り鶴が寄せられ、私達も市から寄せられたものを奉納しました。

平和記念資料館では「原爆」による威力、被害、歴史なども学びました。

我孫子中学校
二年 中川孔明

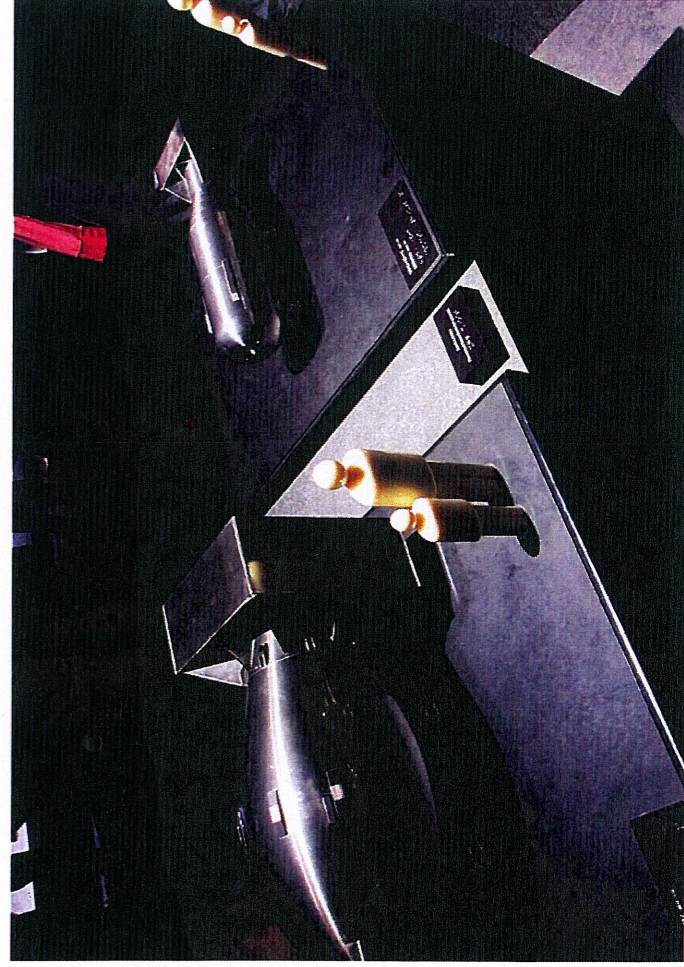
平和記念資料館



ソ連の対日参戦の要請、天皇制の存続を保証し、降伏を促す。

「日本本土上陸作戦、終結させるために、長引く戦争も」

検討もしていった。日本人の使用を、の開発が進む中、アメリカは、原爆



日本は「ポツダム宣言」を受諾しなかった。

言葉も示されなかったため、原爆の使用も暗示する

保証する事が示されず、「天皇制の存続」も

重要とされた。日本が降伏するために

発表をしていたが、ポツダム宣言も米・英中が

本川小学校 平和資料館

湖北中学校2年
高須乃悠香

本川小学校は、72年前、実際に被爆した建物だ。当

時としてはめずらしい鉄筋コンクリートの造

りだったため、原爆のすさまじい爆風や高熱にたえることができた。

本川小学校は、爆心地に一番近い小学校だ。実際の被爆体験をもとにした「はだしのゲン」という漫画の中に登場

する小学校のモデルになっている。作者の中



る。その中には、「シ
ョーケースの中のがラ
スの塊」というものがあ

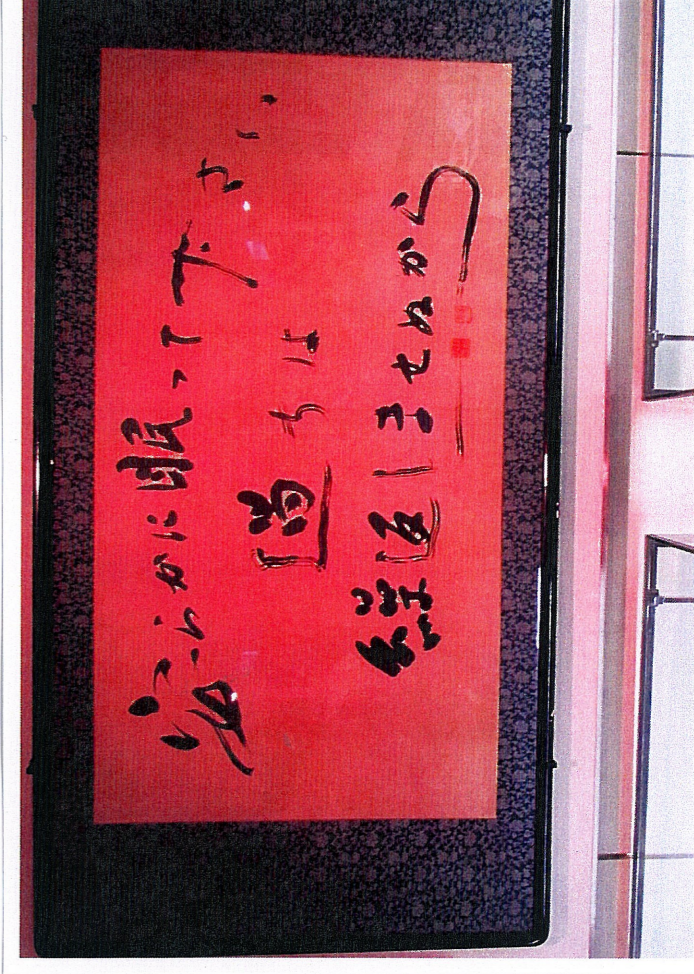
資料館には、当時の焼け跡が残っている。また、写真パネルや被爆資料が展示されてい

た。沢啓治さんは被爆後、本川小学校に通っていた。



本川小学校平和資料館となっている場所では、実際にその場で被爆し、亡くなられた方もいる。跡水ないと感

る。原爆の熱線によ、て一瞬のうちに溶け、固まったもので、72年前の液体がそのまま閉じこめられている。



じられぬ原子爆弾の恐怖があった。

袋町小学校 平和資料館

について

湖北台中学校2年
古川 希

袋町小学校
平和資料館と
は、広島に投
下された原爆

の爆心地から四六〇メ
ートルの所にあつた袋



町小学校西校舎を一部
資料館として改装した
建物で、平成十五年四
月十二日に開館した。

この資料館には、三
十六点もの展示品があ
り、その中でも特に有
名な物が「伝言板」だ。

伝言板とは、原爆に
よつて校舎が焼け、ス
ズで黒くなつた壁を利
用し、教え子や家族の
安否を気遣い、千ヨリ
クで伝言を書き残した
ものである。何人もの
人が、壁に伝言を書い
たとされている。昭和
二十一年六月に学校を
再開させるため、伝言
板はすべてコンクリー

トで覆われてしまつた
が、平成十一年、壁を
少し削つたところ、伝
言板が発見された。

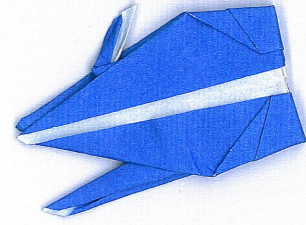


この小学校の資料館
には、伝言板の様に、
当時の様子が良くわか
る物が多く展示されて
いて、原爆の恐ろしさ
を再認識した。核保有

国は、核の恐ろしさを
理解しているのだらう
か。核爆弾を開発し
ている全ての人達に、
このような資料館を見学
してほしいと切に願
た。

広島

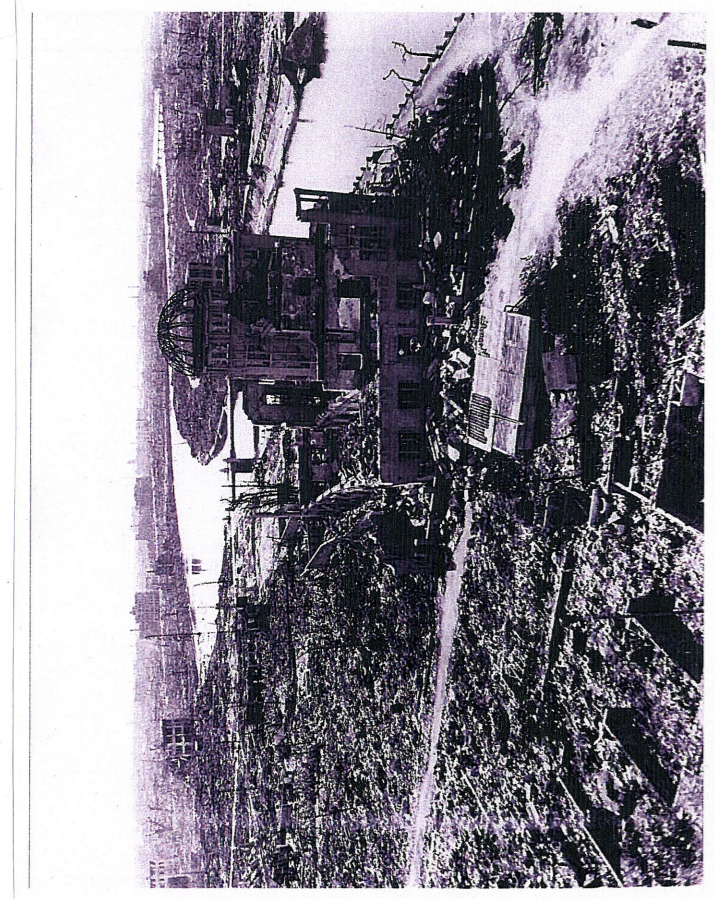
72年経つた今の景色



湖北台中学校
2年
桐山 悟至

「百目の夕方、僕達
はおびつる夕へ向
かいました。取上階に
は展埴スペースが
広島市街が埴を

おこもまれでした。
 五日、資料館であるものを見て驚愕してしまいました。原爆投下前の広島の写真と投下後の広島の写真です。投下前の広島の写真の中には、路面電車も走り人も多く、市民水泳会も開かれるなど、とてもにぎわっている都市でした。また、被爆者の方の話によると空襲などほとんどなく、戦時中もにぎわ



ていたといします。投下後の写真の中には、住宅や町があまりにぎわっていた。広島はもはやそこにはありませんでした。一面焼け野原で、橋や家は倒壊し、人の姿もありませんでした。それを見て、恐ろしい気持ちになりました。



そして、前日おけるタワーで見た写真を見て、これだけに、わが戻

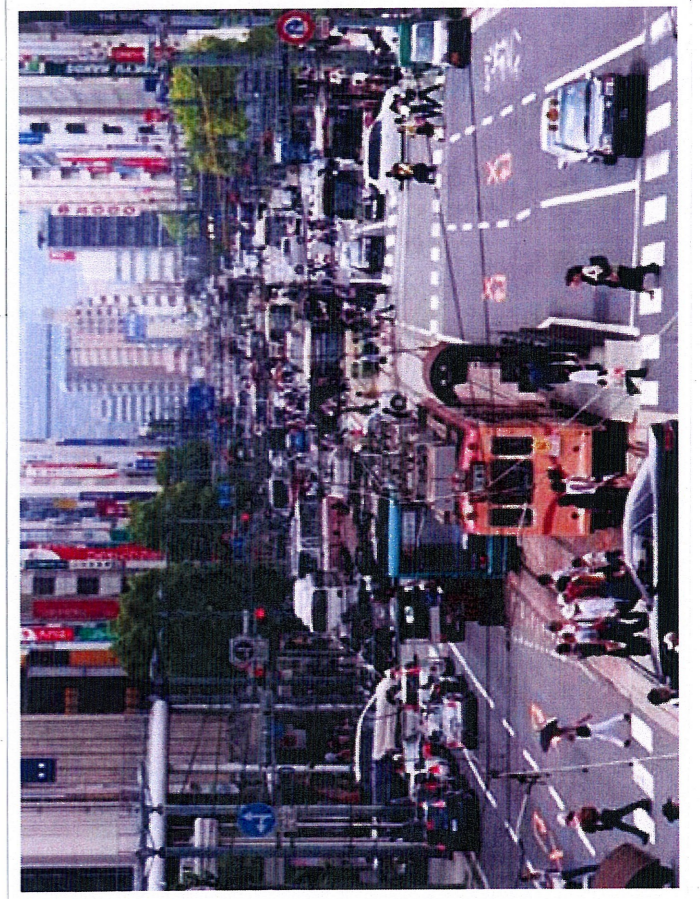
るのかと感動しました。この広島での原爆投下の悲劇を二度と起こさぬように、自分達が頑張っていくと思ひます。



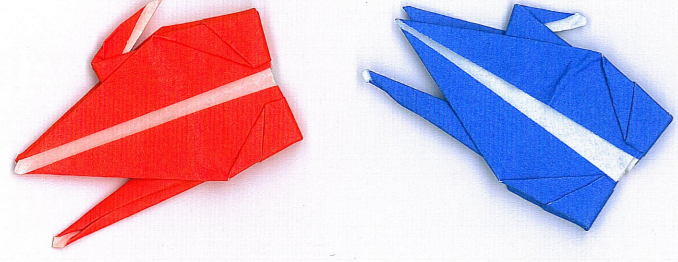
布佐中学校2年 柵木 愛
 私達が行った広島駅周辺は、人が建物が多く活気があふれていました。七十二年という

時を経て、広島は素敵な町になりました。路面電車がたくさん走っていて、昔の様子

も少し感じられ、路面電車は広島の人々に大切にされている様でした。広島の中高生は、高齢化する被爆者の思いを引き継ぎ、「核をなくそう!」などと、広島を訪れるたくさんの方に、自分達の気持ちを伝えていきました。戦争をくり返さない、原



爆は広島で最後に、という思いが伝わってきました。外国人観光客、メディアも多く、広島は世界的に注目されているのが分かります。



我孫子市の 取り組み

我孫子市
では平和宣
をしており、
二〇〇五年
平成十七年
から始まっ

布佐中学校2年
服部 琉佳



た我孫子市から広島、長崎への中学校派遣事業。派遣された中学生は今年の第十三回派遣で累計百二十名を超えました。
リレ〜講座の「リレ〜」は市内全十三校の小学校を一年の間にまわっていくという意味で

も「リレ〜」ですが、被爆体験者の方々の高齢化が進む中で、若い世代への派遣中学生がさらに若い世代小学生までにつなぐという意味で「リレ〜」となっています。

先日八月十二日に我孫子市内にある手賀沼



公園で我孫子市平和記念式典が行われ、私達派遣中学生が派遣報告をしたり平和都市宣言の読み上げ献花や千羽鶴の奉納などを行いました。
派遣終了後「リレ〜」講座や十二月の発表会などを通じて、私達はこれから平和の尊さを伝えていきます。

